

▼妊産婦や高齢者に
席を譲りましょう



あなたの優しさと
思いやりが、福祉の街を
つくります



▼車いす利用者と話をすると
きは、目線を合わせましょう



こころのユニバーサルデザイン



▲点字ブロックの上に、自転車
などの物があると危険です

4月から「障害者差別解消法」が始まります。この法律は、全て
の人が障がいの有無によって分け隔てられることなく、お互いを尊
重し合いながら共に暮らせる社会を実現するために作られました。
障がい者をはじめ、子どもや高齢者など誰もが安心して暮らせる街
をつくるために私たちに何ができるでしょうか。
今回は、市の取り組みの一つである「こころのユニバーサルデザ
イン運動」についてご紹介します。

バリアフリーと ユニバーサルデザイン

バリアとは、障壁や壁と
いう意味で、バリアフリー
とは社会生活を送る上でバ
リアがないこと、または取
り除くことです。

このバリアフリーをさら
に進め、障がいの有無や年
齢・性別・人種にかかわら
ず全ての人が利用しやすい
まちや生活環境をデザイン
するという考え方がユニ
バーサルデザインです。

こころのユニバーサル デザイン運動とは

誰もが暮らしやすいまち
をつくるためには、スロー
プや点字ブロックなどの施

設の整備だけでなく、施設
を利用する一人ひとりの理
解や思いやりが大切です。
そこで、「いつでも、ど
こでも、誰にでもよい」と
いうユニバーサルデザインの
考え方を、一人ひとりの
意識の中にも取り入れるた
め、やさしさや思いやりの
気持ちを一層育む「こころ
のユニバーサルデザイン運
動」を推進しています。

皆さんはこんな光景を 見たことはありませんか

■ほんの少しだからといっ
て、障がい者用駐車スペー
スに駐車する。

■点字ブロックの上に自転
車や看板などの物を置く。
車いすを利用している人

本文中に記載がないものは、原則として、対象どなたでも、費用無料、申込不要。HPホームページ、Eメールアドレス、地域自治センター
区 地区市民センター、出 出張所、進 生涯学習センター、参 うつのみや表参道スクエア、コ 地域コミュニケーションセンター、活 市民活動センター

◎フランスセミナー ▽日時 3月10日(木) 午後3時~7時▽会場 県庁(埴田1丁目)▽内容 フランス食文化・ワイン文化の紹介や、フレンチと日本食の相性、フランス出身の国際交流員が感じた「とちぎの魅力」に関する講演会と、「フランスやとちぎの食に関する語り」「フルート・ピアノ演奏」の交流会▽定員 先着50人▽費用 2,000円▽申込期限 3月3日▽その他 申し込み方法などについて、詳しくは、県国際課 ☎(623)2194へお問い合わせください。



ご存じですか やさしさを育むさまざまなマーク

※市では各マークの配布は行っていません。

障がい者のための国際シンボルマーク



障がい者が容易に利用できる建物・施設であることを明確に表すためのマーク

身体障がい者標識(障がい者マーク)



肢体不自由であることを理由に免許に条件を付された人が運転する車に表示するマーク

視覚障がいを示す国際マーク



視覚障がいを示す世界共通のシンボルマーク

ほじょ犬マーク



身体障がい者補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)同伴の啓発マーク

聴覚障がい者シンボルマーク



聴覚障がいを示す世界共通のシンボルマーク

耳マーク



聞こえが不自由であることを表す国内で使用されているマーク

聴覚障がい者標識(聴覚障がい者マーク)



聴覚障がい者が運転する車に表示するマーク

オストメイトマーク



腹部に人工肛門・人工膀胱を装着している人(オストメイト)のための設備があることを表すマーク

ハートプラスマーク



身体内部に障がいのある人を表すマーク

マタニティマーク



妊産婦であることを表すマーク

介護マーク



高齢者や障がい者などを介護する人を表すマーク

ベビーカーマーク



ベビーカーが利用できる施設などであることを表示するマーク

適正に利用しよう

▶車いすを使っている人や体が不自由な人のための駐車スペースは、適正に利用しましょう。



私たちは生活していく中で、子どもや高齢者、障がいのある人、病气やけがをしている人、妊産婦など、

やさしさや思いやりを持って行動しよう

「知る」ことが大切です。このような行動で、障がいのある人が困った状況や危険な状況に直面してしまう可能性を、私たちはまず

「知る」ことが大切です。このような行動で、障がいのある人が困った状況や危険な状況に直面してしまう可能性を、私たちはまず

いろいろな人に出会います。相手を理解し、想像力を働かせ、一人ひとりがちよっとした「やさしさ」や「思いやり」を持つことで、「このころのユニバーサルデザイン運動」は広がっていきます。

やさしさを育むさまざまなマーク

障がいのある人や体の不自由な人が外出する場合、多くの不便があります。その不便を取り除き、安心して暮らせるように配慮すると共に、周囲の人にサポートをお願いするために考えられたさまざまなマークがあります(上のマーク)。

919

問 保健福祉総務課(632)2